

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和6年8月21日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和6年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 浦川原農業振興公社		
代表者	理事長 田鹿 敏行		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市浦川原区顕聖寺 382 番地 1		
設立年月日	平成5年3月19日		
基本金	40,500 千円	市出捐割合	98.8%
設立目的	上越市浦川原区における農業の担い手育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持並びに農地の効率的利用を図り、もって地域農業の振興に寄与する。		
主な事業	(1) 高齢農家や兼業農家の農作業を支援する事業 (2) 高齢農家や兼業農家の農地の管理耕作を通じて農地の保全を行う事業 (3) 地域の担い手育成を図るため、農業から撤退する農家の農地利用調整を行う事業 (4) 中山間地域等直接支払制度等による地域マネジメント活動への支援事業 (5) 地域づくり活動や交流活動への参加による地域振興に貢献する事業 (6) 公共施設等維持管理事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	6	7	7	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	8	9	9	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	3	3	0
その他	0	0	0
計	3	3	0

5 事業実績（概要）

【令和5年度の経営状況】

- ・ 経常収益は、ふるさと納税の返礼品の売上額の増、水稻作付面積を増やしたことなどにより、前年度と比較して2,696千円増の54,546千円となりました。
- ・ 経常費用は、農業用機械の修繕費の増、夏期の干ばつ被害を受けたほ場の整備費等により、前年度と比較して3,613千円増の52,895千円となりました。
- ・ 全体収支としては、当期一般正味財産増減額と当期指定正味財産増減額の合計566千円の黒字であり、正味財産期末残高は72,252千円となりました。

【令和5年度の主な取組】

○農作業支援事業

- ・ 基幹農作業受託事業

小規模・高齢農業者を支援し、荒廃農地の発生を防止するため、次の農作業を受託しました。

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
水稻関係作業	耕 う ん	3.3 ha	3.1 ha	4.4 ha
	代 か き	3.6 ha	3.1 ha	4.3 ha
	田 植	3.1 ha	2.9 ha	3.0 ha
	溝 切	1.2 ha	0.9 ha	1.7 ha
	刈 取	10.3 ha	8.9 ha	9.4 ha
	合計（延べ面積）	21.5 ha	18.9 ha	22.8 ha
そば関係作業	播 種	2.0 ha	2.0 ha	2.0 ha
	刈 取	6.7 ha	5.6 ha	7.3 ha
	合計（延べ面積）	8.7 ha	7.6 ha	9.3 ha

- ・ 地域農業活性化事業

担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地は公社が管理耕作を行いました。

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
借 入 面 積	44.7 ha	32.5 ha	30.1 ha
公社耕作面積 （うち水稻作付面積）	19.6 ha (17.2 ha)	22.0 ha (16.4 ha)	25.0 ha (19.3 ha)
水稻収穫量 （10a 当たり収量）	89t (8.6 俵)	83t (8.5 俵)	97t (8.4 俵)

○公共施設等維持管理事業

公園や駅舎の除草作業、国県道路の街路樹等の管理、市道や林道の除草作業を行いました。

○育苗センター事業（えちご上越農業協同組合からの受託事業）

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
播種枚数	43,000 枚	39,000 枚	39,000 枚

○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて地域の課題に取り組む組織（中山間地域等直接支払交付金の集落協定など）を支援しました。

6 財務状況（税込）

（単位：千円）

項 目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日	自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	53,054	51,850	54,546
	基本財産運用益	1	1	1
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	38,971	36,287	42,106
	受取補助金等	13,598	12,537	11,236
	その他経常収益	483	3,025	1,204
	経常費用	52,600	49,282	52,895
	事業費	49,329	46,395	49,952
	管理費	3,271	2,887	2,943
	当期経常増減額	453	2,568	1,651
	経常外収益	0	300	0
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	0	300	0
	税引前当期一般正味財産増減額	453	2,868	1,651
	法人税等	717	836	1,000
	当期一般正味財産増減額	△263	2,032	651
	一般正味財産期首残高	28,794	28,531	30,563
	一般正味財産期末残高	28,531	30,563	31,215
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	△186	△186	△85	
指定正味財産期首残高	41,494	41,308	41,122	
指定正味財産期末残高	41,308	41,122	41,037	
正味財産期末残高	69,839	71,686	72,252	
項 目		令和4年3月31日現在	令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在
貸借対照表	資 産	72,507	73,787	75,540
	負 債	2,667	2,102	3,288
	正味財産	69,839	71,686	72,252
	指定正味財産	41,308	41,122	41,037
	一般正味財産	28,531	30,563	31,215

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 公園等管理委託料	2,918	2,607	2,586	
② 市道、林道草刈料	495	2,172	2,251	
合 計	3,413	4,779	4,837	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内 訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 補助金（助成金）	2,741	4,004	3,094	
運営費補助金	1,350	1,350	0	
中山間地域等直接支払交付金	1,231	1,587	1,796	個別協定分と集落協定の個人配分を合算
農業経営所得安定対策緊急助成事業補助金	0	201	0	市補助事業（令和4年度） 1千円/10a
エネルギー価格等高騰支援金	0	100	400	市補助事業（令和4年度） 上限100千円（前年度収入額が50,000千円以上100,000千円の法人の場合） 市補助事業（令和5年度） 上限300千円+追加支援金上限100千円
中山間地域振興作物生産拡大事業補助金	0	766	0	市補助事業 農地整備：上限75千円/10a 種の購入費：上限8千円 苗の購入費：上限100千円
農産物等販売促進事業補助金	160	0	0	市補助事業 上限：5,478千円
鳥獣被害防止施設導入事業補助金	0	0	107	市補助事業 予防的電気柵設置：補助率1/2 既設電気柵更新：補助率3/4
農業経営継続支援金	0	0	200	市補助事業（令和5年度） 上限200千円
農地渇水・高温対策支援金	0	0	11	市補助事業（令和5年度） 補助率1/2
干ばつ災害水田復旧事業補助金	0	0	580	市災害復旧事業 地元負担割合1/10
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
合 計	2,741	4,004	3,094	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額(税込)

(単位:千円)

内 訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
①	水田活用の直接支払交付金	8,228	6,341	6,297	国
②	畑作物の直接支払交付金	493	481	484	国
③	コメ新市場開拓等緊急支援事業 (～R4:新市場開拓に向けた水田 リノベーション事業)	1,448	1,206	1,203	国
④	作付転換支援助成金	372	0	0	国
⑤	土づくり資材助成金	56	46	0	J A
⑥	肥料高騰緩和対策助成金	76	271	69	J A
⑦	渇水緊急対策農作物かん水使用 機械等燃料費助成金	0	0	5	J A
合 計		10,673	8,345	8,058	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

米価の下落、資材や燃料の高騰など、経営環境が厳しさを増す中で、公益財団法人として、定款に定める目的に基づく事業展開を行い、着実にその責務を果たし、地域の期待と信頼に応えていきます。

項 目	令和6年度計画	令和5年度実績
農作業支援事業(農作業受託事業)	34.5 ha	32.1 ha
農地保全事業(公社耕作面積)	25.0 ha	25.0 ha
公共施設等維持管理事業	10,676 千円	15,251 千円
育苗施設作業受託収益	4,800 千円	9,254 千円
公共施設等管理作業受託収益	4,876 千円	4,911 千円
道路等除雪作業業務受託収益	1,000 千円	1,086 千円

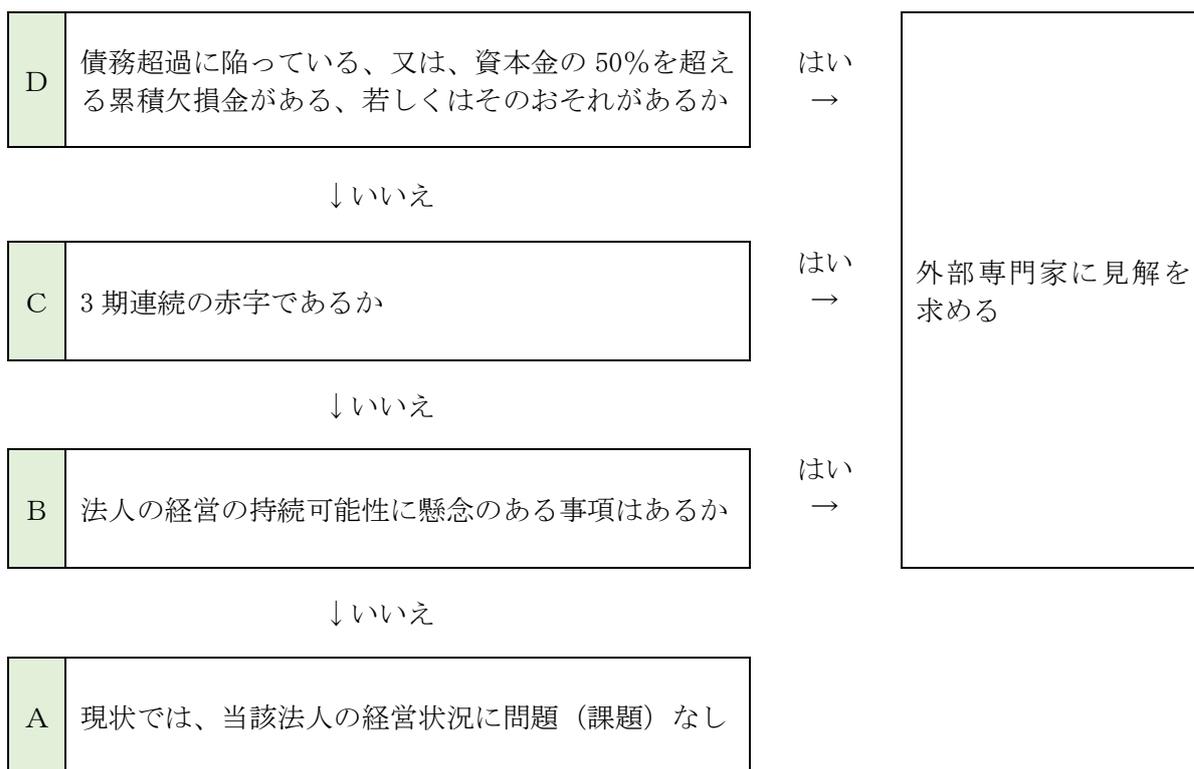
(2) 中長期経営計画

- ・全ての事業において経費の節減に努めるとともに、常に作業の効率化と収支のバランスを考慮しながら事業に取り組みます。
- ・管理耕作事業では、公社の耕作面積を拡大するとともに、補助金を考慮した収益性の高い品種の栽培を行います。また、高品質米の安定生産と直接販売の拡大により、収入の増加を図ります。
- ・収益事業では、区外の公共施設等の管理作業を受託できるよう検討するとともに、切り餅の加工販売や個人を対象とした冬囲い等の作業委託の増加を図ります。

10 令和6年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】</p> <p>特になし</p>		

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。